

グローバル化の時代の要請に応え、  
変革の時を迎えた熊本大学。  
いよいよ平成29年春には、  
グローバルリーダーコースが開設されます。  
そこで、その時に大学進学を迎える、  
熊本の高校2年生の皆さんとの  
座談会を開催しました。  
熊本大学原田学長、  
高島副学長(国際交流担当)が、  
高校生の疑問に答えます。

🌐 原田学長 × 高校生

# 新しい時代を生きる 高校生と話したい、 熊本大学のグローバル化のこと。



|   |
|---|
| 熊本大学 学長<br><b>原田 信志</b> HARADA Shinji                   |
| 熊本大学 副学長(国際交流担当)<br><b>高島 和希</b> TAKASHIMA Kazuki       |
| 熊本マリスト学園高等学校 2年<br><b>本田 真鈴</b> さん HONDA Marin          |
| 熊本県立第二高等学校 2年<br><b>佐々木 徹</b> さん SASAKI Toru            |
| 真和高等学校 2年<br><b>蓮池 創太郎</b> さん HASUIKE Sotaro            |
| 熊本県立済々黈高等学校 2年<br><b>西口 晴乃亮</b> さん NISHIGUCHI Seinosuke |
| 熊本県立宇土高等学校 2年<br><b>星野 朱音</b> さん HOSHINO Akane          |
| 高校生・後列左より   |

五高記念館にて(平成27年11月14日)

皆さんのプロフィールを聞かせてください。  
将来の夢、そして、  
海外の文化や言葉についての考えなど。

**蓮池さん:**僕は国連を目指しています。今年の夏、アメリカのボストンへ行って、ハーバード大学を見学しました。  
**原田学長:**ボストンは良い街ですね。イタリア人街のピザもおいしいけど、「京都」という名前の中華料理店がおいしくて聞いてね(笑)。  
**蓮池さん:**僕は「札幌」っていう韓国料理店がおいしいと聞きましたよ(笑)。



熊本大学 学長 原田 信志

熊本大学医学部卒。マサチューセッツ大学医学部病理学教室  
医学研究員、京都大学助教授などを経て、平成元年熊本大学  
医学部教授。エイズ学研究センター長、大学院生命科学研  
究部長、理事・副学長を歴任。平成27年4月第13代学長に就任。

**佐々木さん:**将来は研究者を考えています。化学が好きで、今、SSH(文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定校)でコーヒーのカスで活性炭を作る研究をやっています。読書も好きです。今、世界史の授業で興味を惹かれたインド二大叙事詩のひとつ「ラーマヤナ」を読んでいます。  
**高島副学長:**むずかしい本を読んでいますね!  
**高校生たち:**すごい!(笑)

**星野さん:**私は今年の夏、タイで「アジア・サイエンスキャンプ」に参加しました。アジア各国の300人の学生が1週間生活を共にしながら、ノーベル賞受賞者の講義を受けたり、科学について話し合ったり。とても刺激を受けました。みんな英語を母国語のように話すんです。「英語は大事だなあ」と思いました。でも、「英語はツール」だとも感じました。結局、話せる内容を持たないと、自分のことが話せないですね。  
**原田学長:**すばらしい経験ですね。私は大学までずっと熊本で、卒業後に初めて海外に行ったので、星野さんどころじゃないカルチャーショックだった(笑)。

**本田さん:**私はJRC(日本赤十字社)の国際文化交流に参加しています。会話は英語ですが、いろいろな方がいらっしゃるので、手話も教えていただいています。海外は去年の夏休み、オーストラリアに。ホームステイ先の子どもたちと一緒に学校へ行って、一緒に授業を受けました。  
**高島副学長:**私も国際共同研究で何度もシドニーに行きましたが、いいところですね。将来の夢は?  
**本田さん:**外交官になっていろんな国に行ってみたいです。私の高校は、フランス革命の時に貧しい子どもたちに勉強を教えるために作られた学校が発祥で、その話をよく聞いていたので、フランスや外国に興味を持ったんです。

**西口さん:**今年、2週間ほどドイツのハイデルブルクとフライブルクに。僕の高校がSGH(文部科学省スーパーグローバルハイスクール)に採択されて、主に環境問題を学びに行きました。  
**原田学長:**哲学の道、川の向こうのお城、いいところですね。フライブルクには行ったことがないけれど、あそこにもいい大学がある。  
**高島副学長:**フライブルク大学は毎年海外語学セミナーで熊大生が行ってますよ。将来の夢は?  
**西口さん:**将来は民間企業の国際関係の部署で働きたいです。自分で企画して、企業の国際シェアを伸ばしていくような。  
**高島副学長:**今、多くの企業が国際的な人材を求めています。日本企業もどこかで海外とつながっている時代ですからね。みなさん、海外に興味を持ち、国際的な仕事をしたいという夢を持っておられる。とても頼もしく思いますね。

熊本大学の国際化について、お話ししましょう。  
まずはグローバル化の必要性と  
熊本大学の取り組みについて。

**高島副学長:**これからの日本はグローバル化を避けて通れません。そこで、文部科学省が「スーパーグローバル大学創成支援」事業をスタートさせました。いろんな大学が「私たちの大学はこういう国際化を進めたい」という申請をし、熊本大学の取り組みが採択されたということですね。「大学のグローバル化」には教育、研究、組織など、いろんなことが含まれます。みなさんに直接関係するのが「教育のグローバル化」です。そこで、熊大の中に「グローバル教育カレッジ」という組織を作りました。教育については、この組織がグローバル化の推進役になります。



**スーパーグローバル大学創成支援事業とは**

国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携など国際化を徹底して進める大学や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化を進める大学を重点的に支援する文部科学省によって平成26年度に開始された事業。

**グローバル教育カレッジとは**

熊本大学のグローバル教育を改革的に推進するためのパワーエンジンとなる新組織。カレッジを構成する3つの教育センターが中心となって、熊本大学のグローバル化を進めます。

- **グローバル人材教育センター**  
国際経験の豊富な講師陣が、グローバル科目(英語による教養・リベラルアーツ科目)を提供します。
- **日本語・日本文化教育センター**  
日本語・日本文化を学ぶ留学生のために、質の高い教育カリキュラムを提供します。そして、外国人留学生や研究者のさらなる受け入れを促進します。
- **オープン教育センター**  
地域の中高校生等へのグローバル教育提供など、地域にグローバルな「学び」の場を提供する「熊大グローバルYouthキャンパス」事業を実施します。



## 平成29年春、「グローバルリーダーコース」が新設されます。国際性と専門性を兼ね備えた、画期的なカリキュラムのスタートです。

**高島副学長:**これからは多様な価値観を理解できる「豊かな教養」と「国際感覚」が必要です。しかし、同時に「確かな専門性」も求められています。国際的な視点を持ちながら、専門的な課題の解決に挑戦していける、そういう人を育成していこうというコースです。グローバルリーダーコースの定員は文学部・法学部・理学部が各10名、工学部20名の合計50名です。教育は文理融合型で、最初の2年間は50名が各自の専門分野の教育に加えて、英語を主体とした教養教育を受けます。文理の壁を越えた勉学を2年間行い、生涯の仲間づくり、専門性を越えた協力ができる環境を整えたいと考えています。このコースには「Late Specialization」という仕組みがあります。通常は、大学入学時に学科やコースを選択しますが、ここでは入学時には学科を限定せず、3年に進級するまでに進むべき学科を選びます。場合によっては学部そのものを変えることもあり得ます(一定の要件を満たせば、他学部への転部も可能)。こうすることで、まず専門性を超えたグローバルな視点を身につけ、さらに高度な専門性を獲得して卒業していくのです。

## 卒業したら、どういう道が開けるのだろう。英語が使えるだけでなく、専門的なスキルを持った人たちが求められる時代。

**高島副学長:**卒業後は国内外の大学院に進むという選択もあるでしょうし、グローバル企業への就職もあると思います。企業の方々からは、「国際的な素養だけでなく、専門分野で活躍できる能力を併せ持った人材がほしい」という声を多く聞きます。先ほど「国連で働きたい」というお話がありました。国連に加え、ユネスコ、あるいはISO(国際標準化機構)もあります。私は国際標準の仕事もしていて、国際会議にも出席しますが、ああいう専門的な分野には日本人は少ないのです。日本は世界に誇る工業技術を持っていますが、国際対応は非常に手薄。まさに国際的な人材が待ち望まれています。



熊本大学 副学長(国際交流担当) **高島 和希**

熊本大学工学部卒。東京工業大学大学院を修了後、長岡技術科学大学、東京工業大学を経て、平成18年大学院自然科学研究科教授、平成24年大学院自然科学研究科長、平成27年4月副学長(国際交流担当)に就任。グローバル教育カレッジ長を兼任している。

## 高校生から熊本大学へ。聞きたいこと、知りたいこと、疑問に思うこと。

**蓮池さん:**日本の大学は文系・理系とはっきり分かれています。海外では文理の壁がありませんね？  
**原田学長:**大学にある壁のひとつが「文系・理系の壁」です。私の専門は医学ですが文系の本も読みます。医学と小説は関係ないようですが、小説の中に描かれる考え方というのは意外に医学にも役立つのです。グローバルリーダーコースは壁を越えるひとつのモデルケースです。最初の2年間は文理の壁を越えた教育を行い、その後、自分の方針を決める。日本の教育はこのようなスタイルが基本になるのではないかと、私はそう考えています。  
**高島副学長:**今回のコースは4つの学部ですが、そこで提供される「グローバル科目」は他の学部の人たちも選択科目として受講することができます。

**佐々木さん:**グローバル教養に力を入れることで、逆に専門性が低下するということはないのですか？  
**高島副学長:**まったく心配ありませんよ。例えば工学部であれば「JABEE」という国際的な学士資格制度があります。熊本大学で学士を取れば、世界中で工学分野の学士として認められます。グローバルリーダーコースでも、この基準を満たさなければ学士の資格は得られません。

**星野さん:**私も1年の時に文理選択でとても迷ったので、このコースは理想的なスタイルだなと思います。私は医学部を目指したいのですが、他学部からも選択科目としてこのコースに参加できるのなら、熊大に入ったらぜひ出席したいです。

**本田さん:**法学を学びたいけど、海外でも働きたい。だから法学部に進むか、国際的な専門大学に行くか…。外交官になるには東京の大学に行かないとダメと思っていたので、熊本の大学でこういうコースができるのはとてもうれしいです。  
**原田学長:**目標に向かっていくにはいろんな道があります。星野さんのお話にもつながるけど、医学部を出て外交官になる人もいます。外務省には医官というお医者さんがいて、外交官などの健康管理を担当しているんですね。実は私の息子もそうで、医者をやめて外交官になろうかなとも言っています(笑)。

**西口さん:**まだネームバリューで大学を選ぶ企業もあると聞きますが、今後は企業も地方の大学に目を向けるようになるのでしょうか？  
**原田学長:**そうなって欲しいと願います。有名な大学から、あるいは縁故関係から採用するというやり方は崩れつつあると思います。やはり能力による人材採用をしなければね。  
**高島副学長:**工学系ではすでに実力次第になっています。大手企業が有名大学よりも熊本大学の学生を採用するケースも増えていきますからね。

## 大学で何を学ぶのか。目標を持って、大学や学部を選ぶことの大切さ。

**原田学長:**熊本大学は文科省から「基礎的な研究をよく推進している」と非常に高く評価されています。高島先生の工学部ではマテリアル分野で素晴らしい研究をされ、産業界でも応用されています。医学部も基礎研究を大事にしていきたいと思っています。熊本大学の特徴はそこにあるからです。一方、文系でも研究部門を強化していこうとしています。すでに「永青文庫研究センター」は優れた研究をしています。熊本大学でいっしょに学び、研究したいという人がいれば大歓迎です。問題は、「大学で何を学ぶのか」という目標を持ってほしいということです。高校生のみなさんにはとても期待しています。

**高島副学長:**高校生のみなさんもグローバル化についてとても関心が高いことがわかって、とてもうれしく思いました。今日は参加していただいて、ありがとうございました。  
**原田学長:**もし、友だちと今日のことなど話して、何か質問が出てきたら、私の時間がある限りお答えします。ぜひ声をかけてください。今日はどうもありがとう。  
**高校生たち:**ありがとうございました。



# 2017年春、開設！ グローバルリーダーコース

熊本大学では、平成29年度(2017年度)から、文学部、法学部、理学部及び工学部の各学部にグローバルリーダーコースを新設します。入学後2年間(1年次・2年次)はグローバル教育カレッジで、グローバルリーダーに必要な能力および専門基礎力を身につけます。3年次に所属する学部の希望する学科もしくはコースに進級し(Late Specialization)、高度な専門科目を履修します。さらに、海外留学、インターンシップ等を通して、グローバルに活躍できる資質能力を身につけます。

### こんな学生に勧めたい！

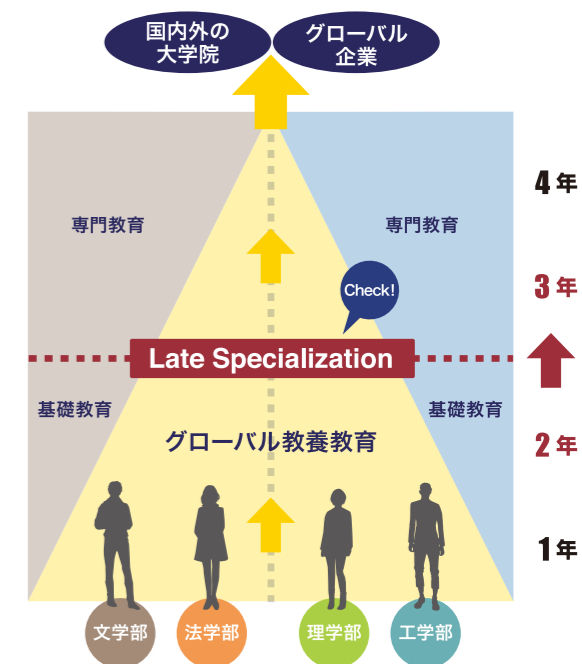
- ◆ 国際化に対応する幅広い教養を身につけたい人
- ◆ 国際交流および国際的なビジネスに携わることに意欲のある人
- ◆ 国際化社会を牽引する強い胆力(精神力)を身につけたい人
- ◆ 高度な専門性を国際社会で展開させたい人
- ◆ 地域に根ざし、グローバルに活躍する意欲と資質をもつ人

### 熊本大学の考える「グローバルリーダー」像

**国内外の地域の課題をグローバルな視点で考え、果敢に行動できる人。**

### 卒業後の進路は？

- ◆ グローバルな企業や公的機関などで、グローバルリーダーとして活躍することが期待されます。日本企業は、海外への生産拠点の移転や海外マーケットの拡大を図っています。そうした中、多様な考え方や価値観、発想を受け入れる柔軟性と、差異を越えて互いに論じ合うことのできる逞しさを身につけた学生が注目されています。
- ◆ また、国内外の大学院に進学し、さらに専門性を高めてもらいたいと考えています。
- ◆ 4年間を通して身につける、「幅広い教養」、「クリティカル・シンキング」、「国際対話力」、「情報発信力」、「高度な専門性」、「創造的知性」そして「リーダーシップ」は、卒業後の進路に大事な役割を果たします。



コースの詳細などは、熊本大学のホームページをご覧ください。 <http://www.kumamoto-u.ac.jp>